

平成26年度
事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センター

目 次

I 総括的概要	1
II 地場産業振興事業	1～12
III ビジネスインキュベータ事業	12～13
IV 施設提供事業	13
V その他	14

I 総括的概要

- 昭和 62 年 8 月の施設オープン以来、地域に根差した地場産業振興活動を行ってきた三重北勢地域地場産業振興センターは、平成 25 年 4 月 1 日から「公益財団法人」へ移行し、平成 26 年度末で丸 2 年を経過した。

定款に定める「三重県北勢地域における地場産業の健全な育成及び発展を図ることによって、地域経済の活性化に貢献し、もって、地域住民の生活向上に寄与する。」という目的のもと、公益目的事業として地域社会の健全な発展や国民生活の安定向上のための事業展開を行った。

- 自主財源確保のため、地場産品 P R に伴う販売手数料収入や施設使用料収入の増収に努めた。

・名古屋や東京などの人口集中地域での展示会開催及び出展をはじめ、名品館においては、じばさん市、感謝セール、グランドセール等を開催するとともに、北勢地域内で開催されるイベントへの出展等により、地場産品の P R ・普及を行った。また、東日本大震災の被災地支援のため、八戸、盛岡、いわきの商品を販売した。

名品館の売上総額は 70,055,428 円となり、前年度比 97.7% (25 年度 71,670,431 円) で前年度より減少した。復興支援の売上は 23 年度が 3,175,920 円、24 年度が 832,720 円、25 年度が 724,200 円、そして今年度は 540,377 円と低下してきているが、引き続いて八戸、盛岡、いわきの販売支援を行っていく。

・施設提供事業については、施設使用料収入は 55,846,789 円で前年度比 105.3% と (前年度 53,047,762 円) 前年度を上回った。

四日市税務署の「確定申告会場」の利用、大学入試の利用についても秋頃からの利用もあり、順調に推移している。

- 平成 14 年度に設置し、新事業へ挑戦する企業を支援するインキュベートルームについて運営と維持管理に努めた。平成 26 年度に入居決定を行ったのは 3 社で、うち年度内の入居は 2 企業、次年度の入居予定が 1 企業で、全 7 室中、平成 26 年度末時点の入居企業数は 4 社である。

II 地場産業振興事業

地場産業振興事業として地場産品 P R 事業、人材養成事業、情報収集提供事業、相談指導事業を実施し、公益目的事業として取り組んだ。

1 地場産品 P R 事業

地場産品の良さを知ってもらうには、実際に商品を購入して使用してもらうことが重要なため、展示会の開催、出展及び名品館事業を通して、積極的に商品紹介を行い、地場産品の P R ・普及に努めた。

(1) 展示会の開催及び出展

三重県北勢地域の地場産品を広くPRし販路拡大を図るため、名古屋及び東京において展示会の開催及び出展を行った。

名古屋金山総合駅イベント広場では5回展示会を開催し、東京ではイベント効果を考慮し、ふるさと祭り東京には出展せず、東京都庁、日本橋、新宿駅西口広場の3回の展示会の開催及び出展を行った。

<名古屋>

① 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘14 (part 1) 新茶まつり

～伊勢の銘茶（新茶）を萬古急須で飲む～

会 期 平成26年5月13日（火）、14日（水）

会 場 金山総合駅イベント広場 : 26回目

来場者数 12,000人

出展者数 24ブース（1ブース1,800mm×900mm）

売 上 額 2,310,309円（対前年度比97.8% 2,363,127円）

新茶に合わせて、「伊勢の銘茶を萬古急須で飲む」というキャッチコピーとともに、水出しによるかぶせ茶の試飲を提供するなどのPRに努めた。

また、かぶせ茶の生産は2週間以上の覆いが必要なため新茶数量を確保するために、開催時期を遅らせて対応したが、過去最高の売上を記録した昨年度には及ばなかった。



金山（新茶まつり）

② 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘14 (part 2) 手延めんまつり

会 期 平成26年7月8日（火）、9日（水）

会 場 金山総合駅イベント広場 : 27回目

来場者数 8,000人

出展者数 24ブース（1ブース1,800mm×900mm）

売 上 額 1,525,594円（対前年度比112.0% 1,361,909円）

手延めんまつりとして今回で4回目となるが、先に名品館で開催した「じばさん市の手延めんまつり」が好評のため素麺の在庫が無くなり、金山では冷麦のみの販売となった。

なお、気温が2日間ともに32度前後の真夏日となって来場者は少なかったものの、昨年度と比較すると売上は増加した。

③ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘14 (part3) 秋の名産品まつり

会 期 平成26年9月24日(水)、25日(木)

会 場 金山総合駅イベント広場 : 28回目

来場者数 9,000人

出展者数 24ブース(1ブース1,800mm×900mm)

売上額 1,818,423円(対前年度比88.8% 2,047,740円)

台風から変わった低気圧の影響で名古屋駅地下が水没するなどにより来場者が少なく、売上は前年を下回った。秋の名産品として、四日市梨(豊水)を30袋(4個入)準備して臨み、初日の午後には完売できた。



金山(秋の名産品まつり)

④ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘14 (part4) 土鍋&菓子まつり

会 期 平成26年11月9日(日)、10日(月)

会 場 金山総合駅イベント広場 : 29回目

来場者数 9,500人

出展者数 24ブース(1ブース1,800mm×900mm)

売上額 2,099,499円(前年度比94.9% 2,211,235円)

季節に応じた四日市萬古焼の土鍋と菓子をメインとした「土鍋&菓子まつり」をテーマに実施した。初日が日曜日開催となったことや近くのアスナル金山でのイベント開催などから、通常の平日開催とは異なった客層となった。



金山(土鍋&菓子まつり)

⑤ 三重県北勢地域の地場産品フェア（part5）新酒まつり

会 期 平成27年3月10日（火）、11日（水）

会 場 金山総合駅イベント広場：30回目

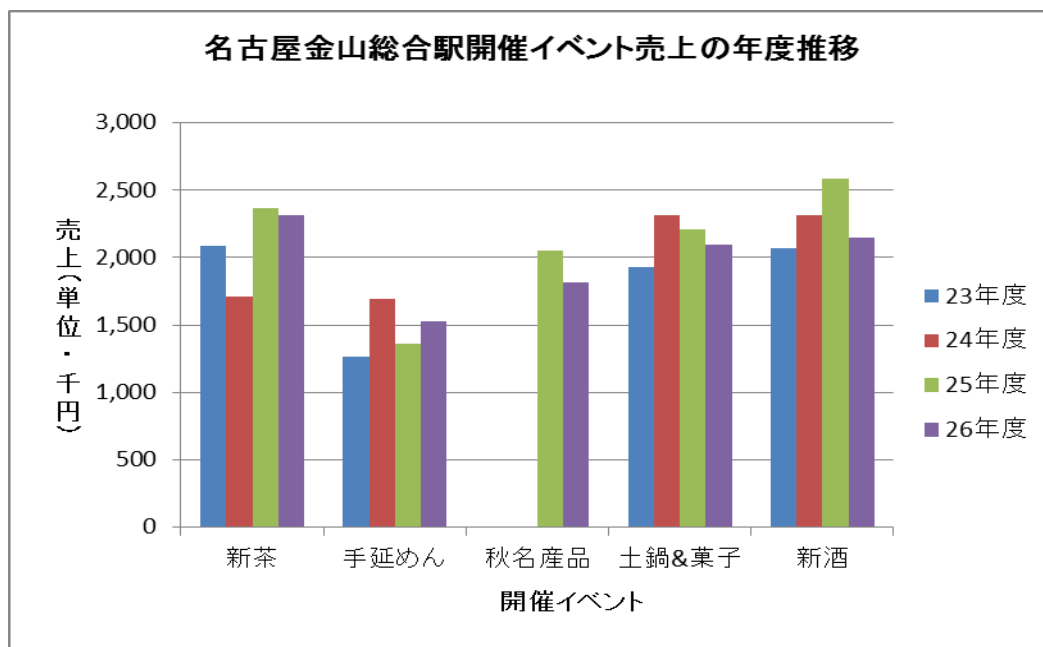
来場者数 10,000人

出展者数 24ブース（1ブース1,800mm×900mm）

売上額 2,144,753円（前年度比83.1% 2,582,230円）

「新酒まつり」と銘打ち、丸彦酒造、宮崎本店、早川酒造部の3つの蔵元が参加した。2日間とも、雪まじりの冬のような寒さのため、全体的に売上は伸びなかった。

このフェアは四日市商工会議所と連携してPRに努めており、金山総合駅の①～⑤の売上合計額は9,898,578円（昨年度比93.7% 10,566,241円）となった。



<東京>

① 「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成26年9月10日（水）～16日（火）（1週間）

会 場 東京都庁 全国観光PRコーナー（東京都新宿区）

来場者数 6,000人

出展者数 7ブース

売上額 915,090円（対前年度比86.0% 1,064,459円）

東京シティプロモーション事業実行委員会主催の事業への出展で、東京都庁は今回で4回目となり、過去の売れ筋商品を踏まえて季節にあわせた品揃えとした。

売上は昨年度を下回ったものの、季節商品である「四日市梨」や「なが餅」については完売し、お茶入りのお菓子も多くは完売した。

② 「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成26年10月15日(水)
会 場 日本橋プラザビル前イベントスペース(東京都中央区)
来場者数 2,000人
出展者数 1テント
売 上 額 75,672円(前年度比38.5% 196,750円(2日間開催))

東京都庁でのイベントに続き、東京シティプロモーション事業実行委員会主催事業への出展で、四日市の地場産品の知名度UP、宣伝普及を行った。台風19号の影響から予定の2日間開催から1日間のみの開催としたが、当日の天候は雨で、売上は前年度より減少した。

③ 三重県北勢地域の地場産品フェア '14

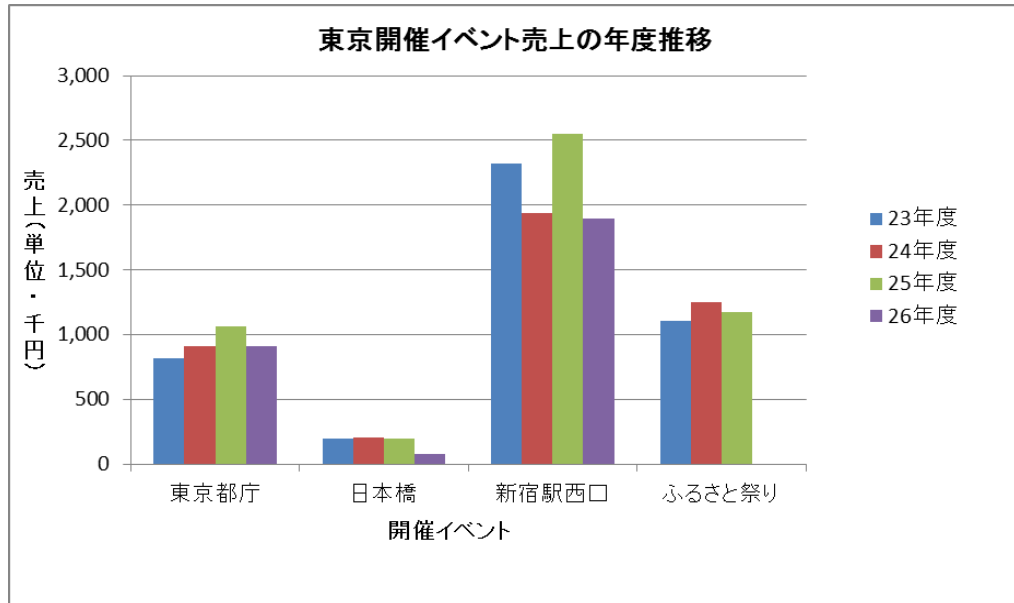
会 期 平成26年10月28日(火)～31日(金)
会 場 新宿西口イベント広場(東京都新宿区)
来場者数 22,000人
出展者数 25ブース(1ブース1,800mm×900mm)
売 上 額 1,896,573円(4日間)(前年度比74.4% 2,550,416円 4日間)

昨年に引き続き、改札口に近い正面の良い場所をおさえる条件が4日間であったため、28日からの4日間開催となった。

初日は寒かったものの、残りの3日は天候に恵まれたが、来場者は例年より少なく、また、四日市商工会議所の共催によって会議所会員は出展補助が受けられるものの、出張販売者の数が少なかったためか、昨年の売上には及ばなかった。



新宿駅西口イベント広場



<その他>

- ① 第 65 回大川木工まつり「ジャパンメイドネットワーク物産展」(商品のみ出展)

会 期 平成 26 年 10 月 11 日(土)～13 日(月・祝)

会 場 大川中央公園メインステージ(福岡県大川市)

売 上 額 56,640 円(前年度比 113.1% 50,100 円)

- ② デザインプラザ HOFU じばさんフェア ‘14「全国うまいもの市」(商品のみ出展)

会 期 平成 26 年 11 月 8 日(土)、9 日(日)

会 場 (公財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター(山口県防府市)

売 上 額 51,280 円(前年度比 92.8% 55,280 円)

- ③ 和歌山地場産フェア(商品のみ出展)

会 期 平成 26 年 11 月 15 日(土)、16 日(日)

会 場 和歌山地場産産業振興センター(和歌山県和歌山市)

売 上 額 15,260 円

(2) 名品館事業

地域の地場産品の品揃えの充実、リピーターの確保を図り、イベントの開催を通じて、積極的な商品紹介を行い、地域内外に向けて、幅広く PR を行った。

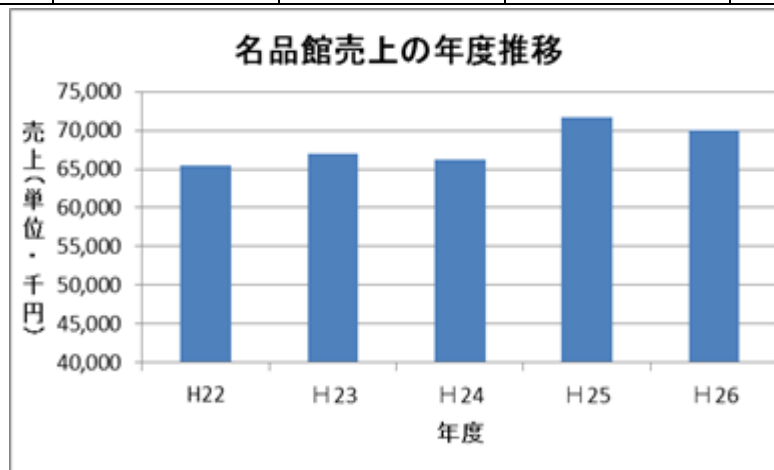
2 月から 3 月にかけての税務署「確定申告会場」も 4 年目を迎え、名品館が市民に認知されてきたことから、今まで以上の集客ができた。

また、復興支援も 4 年目に入り、八戸、盛岡、いわきの商品について、被災地支援として販売を行った。

年間売上は 70,055,428 円（前年度比 97.7% 71,670,431 円）となり、消費税率引き上げなどの影響もあり 160 万円ほどのマイナスとなった。

<名品館売上>

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
65,547,986 円	66,978,473 円	66,212,640 円	71,670,431 円	70,055,428 円



<名品館イベント>

主なイベントとして、じばさん市の名称で季節ごとに年 8 回と 8 月に開館記念感謝セール、2 月から 3 月にかけてグランドセール等を開催し地場製品の PR を行った。

① じばさん市の開催 (8 回)

- 平成 26 年 5 月 5 日 (月)、6 日 (火) 「新茶フェア」
- 6 月 26 日 (木) ~ 7 月 2 日 (水) 「手延めんまつり」
- 8 月 1 日 (金) 「夏の菓子まつり」四日市菓子組合
- 10 月 4 日 (土)、5 日 (日) 「鈴鹿の物産&ごま製品フェア」
- 11 月 22 日 (土) ~ 12 月 21 日 (日) 「お歳暮フェア」
- 12 月 6 日 (土)、7 日 (日) 「うどん・きしめんまつり」
- 平成 27 年 1 月 4 日 (日) ~ 8 日 (木) 「新春福袋フェア」
- 2 月 1 日 (日) 「ザ・銘菓 匠の技と味まつり」朝明菓子組合



じばさん市 (新茶フェア)



じばさん市（手延めんまつり）

② 「開館記念 感謝セール」の開催

平成 26 年 8 月 1 日（金）～8 月 7 日（木）

地場産品の割引セールの実施

③ 「名品館グランドセール ‘15」の開催

平成 27 年 2 月 28 日（土）～3 月 8 日（日） 工芸品 2 割引（食品 1 割引）

「名品館グランドセール」開催中には、「春の都まんじゅうまつり」を第 1 弾＜2 月 28 日（土）、3 月 1 日（日）＞と第 2 弾＜3 月 7 日（土）、8 日（日）＞に分けて開催。

「春の都まんじゅうまつり」は、昨年度から始めた各戸配布のチラシ等の効果もあり完売となった。4 日間で 1,180 個（昨年度 1,440 個）を販売、「四日市名物・銘菓」であり、北勢地域（四日市市、桑名、いなべ、三重郡）のみで製造されている日持ちのする「焼菓子」であることを PR した。

④ 「確定申告会場に伴う出張販売 春のときめきフェア」の開催

平成 27 年 2 月 16 日（月）～3 月 16 日（月）

確定申告来場者に対して特設コーナーを設けて、お値打ちセールを実施した。イベントとして定着し、売上も伸びてきている。

(3) 構成地域内での物産展等への参加（出展 9 回、延べ 12 日）

平成 26 年 4 月 5 日（土）、6 日（日） 「第 23 回エキサイト四日市バザール 2014」

会場：諏訪新道通り、沖ノ島交差点付近

5 月 10 日（土）、11 日（日） 「第 53 回四日市萬古まつり」

会場：ばんこの里会館 1 階ロビー

7 月 13 日（日）

「楠地区合併 10 周年記念『地域交流フェスタ』」

会場：楠福祉会館

10 月 5 日（日）

「第 6 回秋のばんこ祭り」

会場：ばんこの里会館 1 階

10 月 19 日（日）

「第 3 回全国ファミリー音楽コンクール」

会場：四日市市文化会館 2 階ホワイエ

見学先：(有)カネスエ製麺所－鈴鹿市伝統産業会館－(有)北野米菓－
東海醸造(株)－王子グランパ(株)



鈴鹿市 東海醸造(株)

③ 3回（桑名市、朝日町）

日 時：平成 26 年 11 月 27 日（木）

参加数：39名

見学先：カネソウ(株)－しぐれ工房（貝新フーズ(株)）－輪中の郷
－(株)小杉食品－(資)後藤酒造場



桑名市 小杉食品(株)

④ 第4回（四日市市、いなべ市、菰野町）

日 時：平成 27 年 3 月 17 日（火）

参加数：38名

見学先：(有)松尾製陶所－いなべ市農業公園－(株)八里屋菰野工場
－道の駅 菰野ふるさと館－石川酒造(株)

2 人材養成事業

(1) 地場産業経営支援セミナー

産地組合が抱える課題や業界の動向を踏まえ、支援策となる組合単位での講座を実施するためのアンケートを行ったが、構成団体からの申し出がなかったことから、萬古焼、茶、菓子関係の団体を対象として「作り手の想いを使い手に伝えて、感動と共感を呼ぶために」と題する「じばさん三重」研修会を実施した。

日 時：平成 27 年 2 月 10 日（火）19:00～
場 所：当センター 4 階 視聴覚室
講 師：EMK デザインスタジオ主宰 小野恵美子氏
参加数：22 名



「じばさん三重」研修会

（2）夏休み小学生じばさん講座

構成地域内の小学生高学年を対象に地場産業への認識を深めることを目的に開催し、当地域の地場産業の歴史的発展や現状などを総合的に解説するとともに、体験を行った。

① 夏休み小学生じばさん講座 上級コースA・B（5、6年生対象）

日 時：Aコース 平成 26 年 7 月 29 日（火）

Bコース 平成 26 年 7 月 30 日（水）

場 所：当センター 6 階ホール

参加数：Aコース 81 名

Bコース 93 名

実演者：湯呑作り、電動ろくろ体験 萬古焼陶芸家 清水潤氏、清水潮氏
組子細工の体験 指勘建具工芸 黒田裕次氏、黒田之男氏
伊勢形紙の色紙彫り体験 伝統工芸士 大杉明氏、六谷博臣氏



上級：組子細工

② 夏休み小学生じばさん講座 初級コース（4年生対象）

日 時：平成26年7月31日（木）、8月1日（金）〔半日コース2回実施〕

場 所：当センター 5階大研修室、6階ホール

参加数：128名

実演者：萬古焼皿絵付け、電動ろくろ体験 萬古焼陶芸家 荻内善晴氏

伊勢形紙しおり彫り 伊勢形紙伝統工芸士 木村正明氏

伊勢形紙（協）理事長 林庸生氏



初級：電動ろくろ体験

3 情報収集提供事業

(1) 各種情報図書の整備、新聞・機関誌からの情報収集

(2) インターネットによる情報提供

ホームページにより、名品館でのイベント(じばさん市・感謝セール・グランドセール等)、首都圏・中部圏等での展示・販売会の周知や出展のお知らせについて、積極的に情報を提供し、地場製品の普及・PRに努めた。なお、ホームページについては、平成26年度にリニューアルを行った。

4 相談指導事業

地場産業界や中小企業者を対象に実施する各種相談等は四日市商工会議所への斡旋とした。なお、ベンチャー起業相談は三重県産業支援センターの協力のもと実施した。

Ⅲ ビジネスインキュベータ事業

新たな事業の創出や新技術・新商品の開発による新事業へ挑戦しようとする企業の支援を行った。

9月1日に開催した第15回インキュベートルーム入居審査委員会において、(株)人財バンク、(株)インフォミクスが入居基準を満たすと報告があり、入居を決定した。

また、平成27年2月27日に開催した第16回インキュベートルーム入居審査委員会において、金澤賢一氏が入居基準を満たすと報告があり、入居を決定した。なお、金澤氏の入居は平成27年4月以降となる。

<入居状況>

ルーム1	(株)shanti	入居中
ルーム2		空室
ルーム3		空室
ルーム4	(株)人財バンク	平成26年10月入居
ルーム5		空室
ルーム6	(株)環境思考	入居中
ルーム7	(株)インフォミクス	平成26年10月入居

IV 施設提供事業

地域産業界及び地域住民に良質な会場を提供し、より多くの方にご利用いただけるよう努めた。四日市市文化会館の「催し物案内」、四日市商工会議所の「商工春秋」の広告欄、イベントのチラシ等で貸館利用のPRを行なうとともに、平成26年9月からインターネットによる「WEB予約フォーム」での予約受付を開始した。

2月から3月中旬にかけての四日市税務署の「確定申告会場」も4年目となり、会場としても馴染んできた。

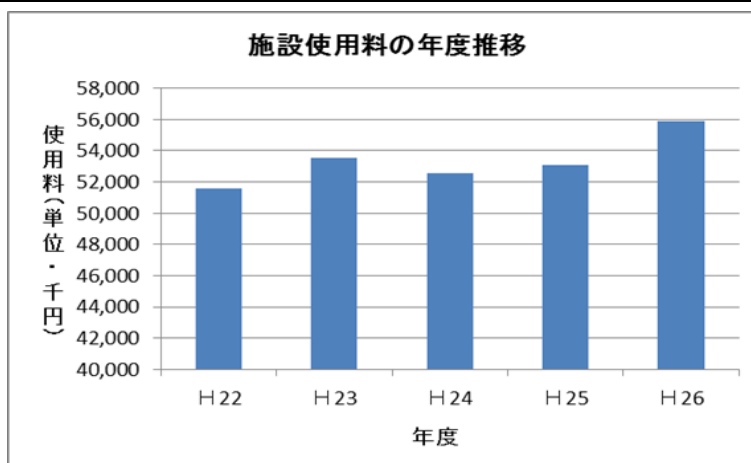
平成27年3月21日に隣接する四日市市立博物館がリニューアルするとともに「四日市公害と環境未来館」が開館し、あわせて当センターの2階に四日市公害と環境未来館活動室も開館した。

施設使用料収入については55,846,789円（前年度比105.3% 53,047,762円）となり、前年度を280万円ほど上回った。

今後も、「公益・収益」の区別を明確にし、なおかつ収益の中での「営業・非営業」の区別も明確にし、施設使用料の増を図り、自主財源の確保に努める。

<施設使用料収入>

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
51,560,000円	53,503,000円	52,562,701円	53,047,762円	55,846,789円



V その他

社会学習及び社会見学などを目的として、下記のとおり視察及び見学があった。

月 日	団 体 名	人 数
6月13日(金)	滋賀県五個荘コミュニティセンター「楽学アカデミー」	25
6月23日(月)	滋賀県近江八幡市加茂町老人クラブ	41
9月6日(土)	滋賀県湖東焼を育てる会	28
10月2日(木)	第一学院高等学校四日市キャンパス	19
10月20日(月)	滋賀県松原老人クラブ	30
12月2日(火)	四日市市立大矢知興譲小学校	119
12月3日(水)	三重県立くわな特別支援学校	13
2月17日(火)	三重県立龔学校中学部	16
合計		291